

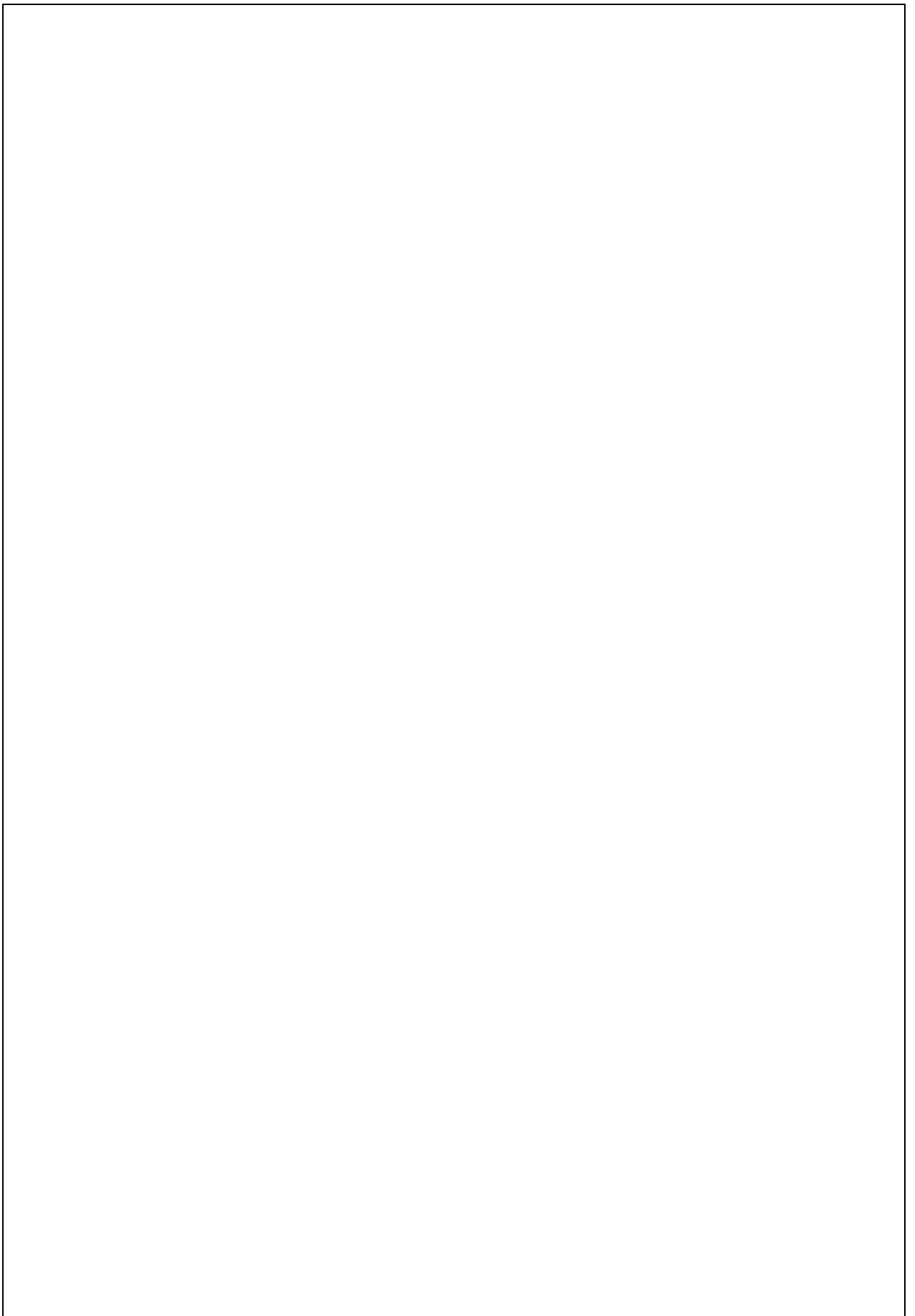
目次

第1章 導入編	
導入編1. はじめに	1
導入編2. システム構成	1
導入編3. ソフトウェアのインストール	2
導入編4. サーバー側のネットワークの設定	2
導入編5. サーバー側のファイアウォールの設定	4
導入編6. LAN経由でポケットロジアナの操作を行う	6
6.1 ポケットロジアナサーバーの起動	6
6.2 リモート側の操作	7
第2章 応用編	
応用編 1. はじめに	9
応用編 2. ADSL 経由でインターネットに接続する	10
2.1 システム構成	10
2.2 各種設定	10
2.3 ブロードバンドルーターの設定	11
2.4 サーバー側の操作	14
2.5 リモート側の操作	14
応用編 3. ドメイン名で接続する	16
3.1 ドメイン名の取得	16
3.2 IP アドレスアップデータの導入	17
3.3 サーバー側の操作	17
3.4 リモート側の操作	18

— 第 1 章 —

導入編

導入編 1. はじめに.....	1
導入編 2. システム構成.....	1
導入編 3. ソフトウェアのインストール.....	2
導入編 4. サーバー側のネットワークの設定.....	2
導入編 5. サーバー側のファイアウォールの設定.....	4
導入編 6. LAN 経由でポケットロジアナの操作を行う.....	6
6.1 ポケットロジアナサーバーの起動.....	6
6.2 リモート側の操作.....	7



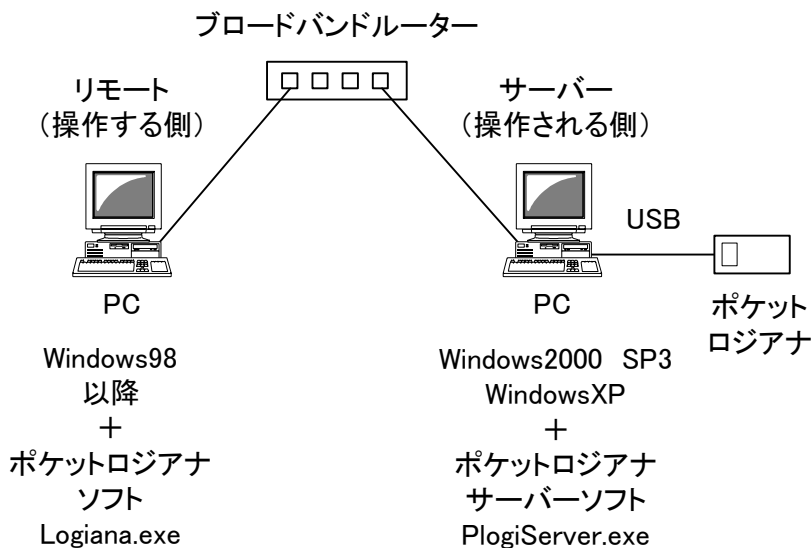
導入編 1. はじめに

導入編では、LAN 経由でポケットロジアナの操作を行う方法を解説します。応用編で、インターネット経由のリモートコントロールの方法を解説します。LAN 経由の方が簡単ですので、まず、導入編の方法で動作確認を行うことをお勧めします。

導入編 2. システム構成

下図のように、ブロードバンドルーターに 2 台のパソコンを接続します。ポケットロジアナを接続したパソコンがサーバーで、操作される側です。リモート側には、ポケットロジアナを接続しません。

サーバー側の OS は、セキュリティの面を考慮して、Windows2000 SP3 や WindowsXP をお勧めします。WindowsUpdate をかけて、最新の状態にしておくとい良いでしょう。サーバー側、リモート側ともに、セキュリティソフト(ウィルスバスター2003 など)をインストールして、パーソナルファイアウォールを有効にすることをお勧めします。



【1-2-1】

導入編 3. ソフトウェアのインストール

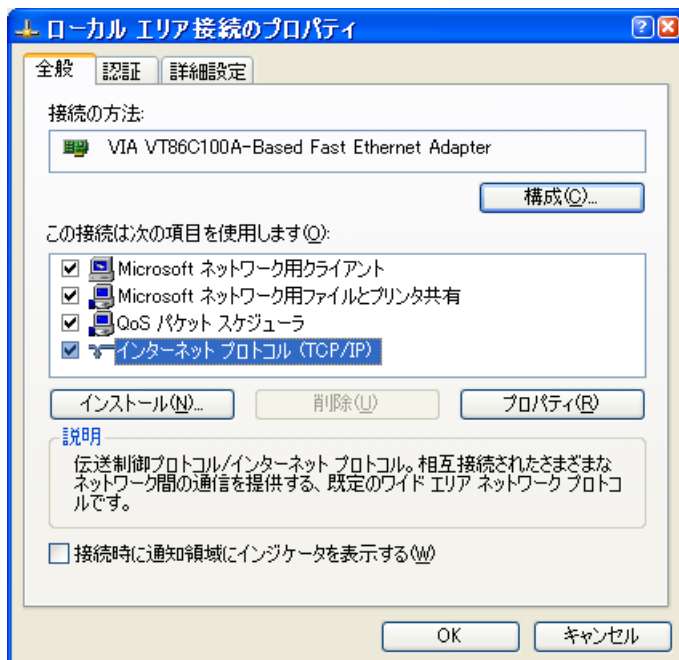
リモート側は、USB 接続でポケットロジアナを使うときと同じように、CD-ROM からポケットロジアナソフトをインストールします。詳しくは、ポケットロジアナマニュアルの導入編をご覧ください。

リモート側で、ソフトのインストールを行った後、C:\ProgramFiles\PocketLogiana\PlogiServer\PlogiServer.exe がインストールされています。PlogiServer.exe をサーバー側のハードディスクにコピーします。ここでは、C:\PlogiServer フォルダにコピーしたものとします。

導入編 4. サーバー側のネットワークの設定

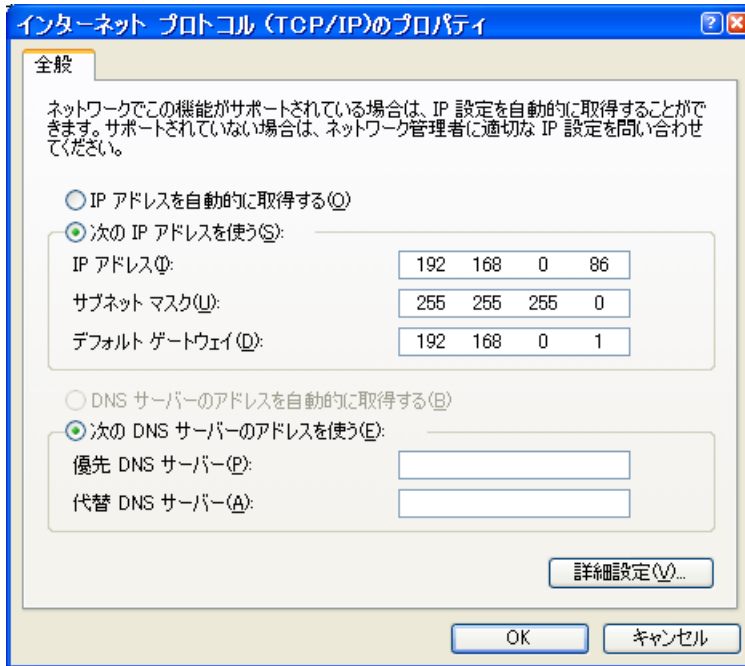
通常、ルーターに接続したパソコンには、電源投入時、自動的に IP アドレスが割り当てられます。サーバー側のパソコンでは、この IP アドレスが固定されている必要があります。

スタートメニューのコントロールパネルを選び、ネットワーク接続をダブルクリックし、ローカルエリア接続を右クリックし、プロパティを選びます。インターネットプロトコルを選び、プロパティボタンを押します。



【1-4-1】

次の IP アドレスを使うにチェックし、下図のように IP アドレスを入力します。



【1-4-2】

ルーターには、下図のように自動的に割り当てる IP アドレスの設定があります。下図は、メルコの BLR2-TX4 の設定画面です。192.168.0.2 から 16 台 (192.168.0.2 ~ 192.168.0.17) を割り当てています。これ以外のアドレスを選ぶ必要があります。今回は 86 を選んでいます (最初の *.*.* は共通)。また、デフォルトゲートウェイには、下図の LAN 側 IP アドレスを入力します。



【1-4-3】

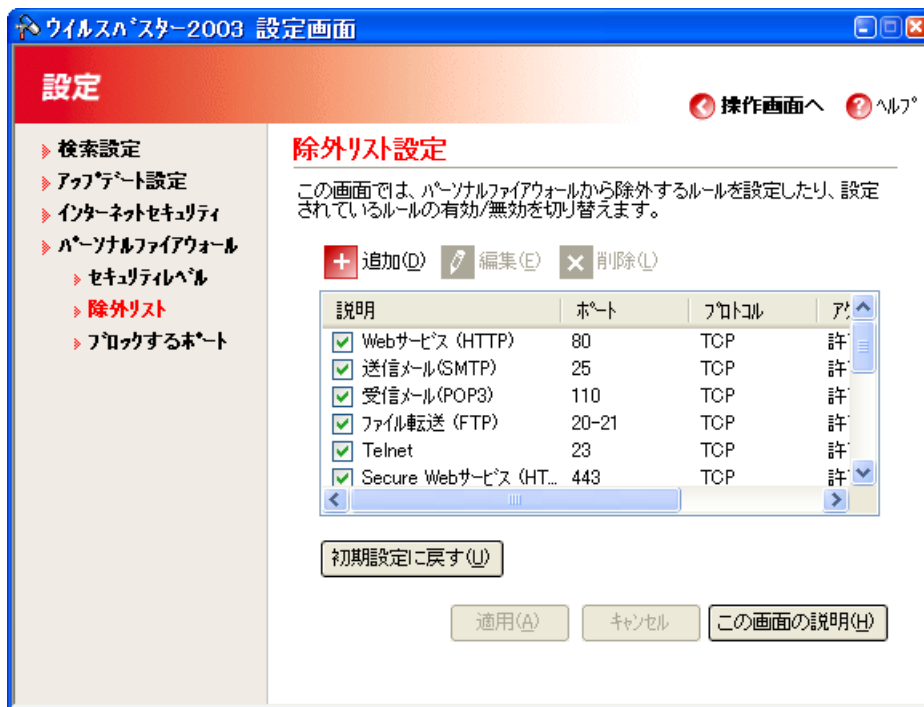
IP アドレスの設定後、パソコンを再起動します。

導入編 5. サーバー側のファイアウォールの設定

セキュリティのため、パーソナルファイアウォールを有効にすることをお勧めしますが、デフォルトの状態では、ポケットロジアナサーバーにアクセスすることができません。

サーバー側のファイアウォールを下図のように設定します。リモート側は、セキュリティソフトをインストールした時の状態のままで、変更の必要はありません。パーソナルファイアウォールが有効になっていることだけは確認してください。

除外リスト設定で追加を選びます。



【1-5-1】

下図のように入力して、OK を押します。55000 はリモートロジアナで使用するポート番号です。

除外リストルールの追加/編集

1. ルールの説明(U):
ポケットロジアナ

2. インターネットアクセスを許可するのか、拒否するのかを選択します。
 インターネットアクセスを許可する(A)
 インターネットアクセスを拒否する(D)

3. このコンピュータへの接続を許可/拒否するコンピュータを指定します。
種類(O): 全てのIPアドレス

4. 許可/拒否するアクセスのポートの種類を選択します。
ポートの方向: 受信(O) 送信(O)
 すべてのポート(L)
 指定したポート(S):
ポート番号またはポートの範囲を1から65535の間で指定(N):
55000
複数指定する場合は、カンマ(,)で区切ります(例:10,15,20-30)
プロトコル(O): TCP

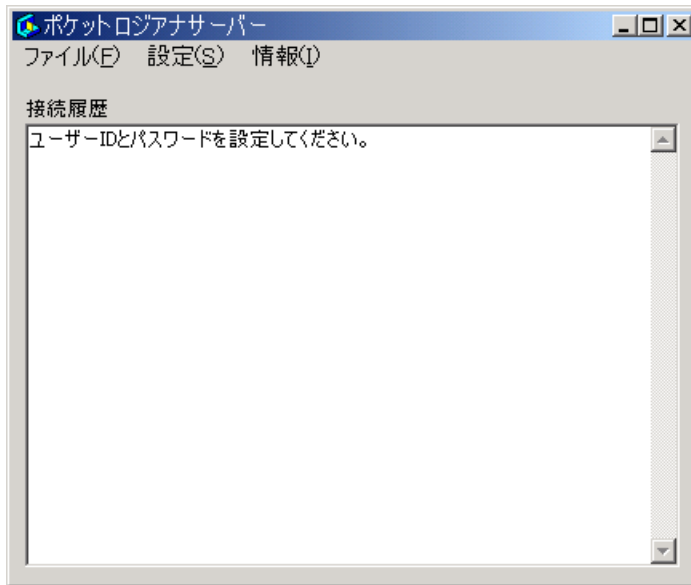
OK キャンセル

【1-5-2】

導入編 6. LAN 経由でポケットロジアナの操作を行う

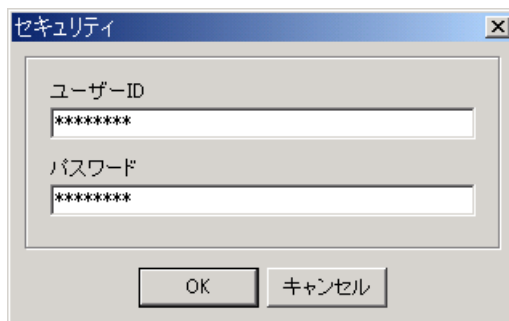
6.1 ポケットロジアナサーバーの起動

サーバー側のパソコンにポケットロジアナを接続します。C:\¥PlogiServe¥PlogiServer.exe をダブルクリックして、起動します。



【1-6-1】

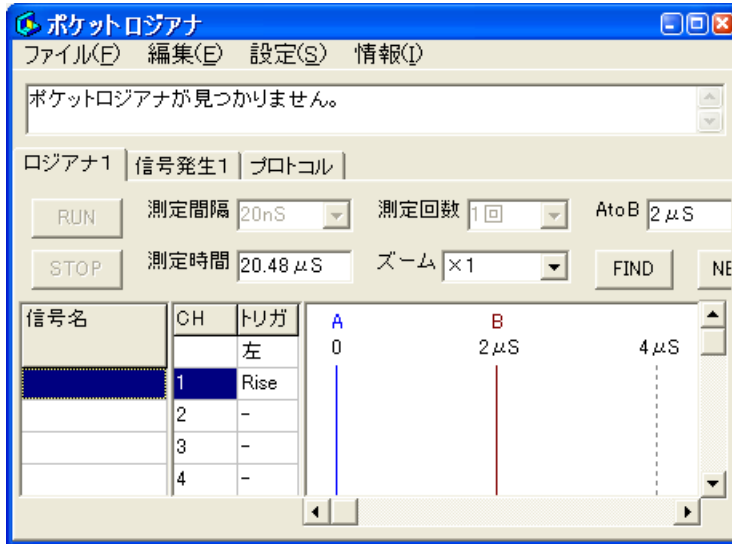
メニューの[設定 | セキュリティ]を選択し、任意のユーザーID とパスワードを入力します。半角英数字で 31 文字以内です。32 文字目以降は無視されます。



【1-6-2】

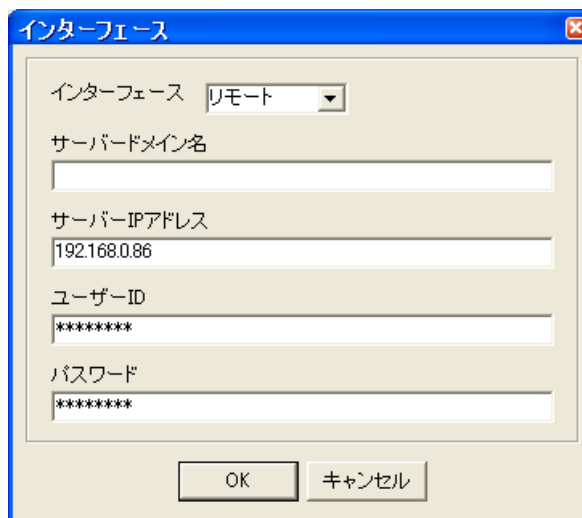
6.2 リモート側の操作

USB 接続のときと同じように、スタートメニューからポケットロジアナを選び、ソフトを立ち上げます。リモート側のパソコンには、ポケットロジアナを接続していませんから、下図のメッセージがでます。



【1-6-3】

メニューの[設定 | インターフェース]を選択し、インターフェースをリモートに切り替え、ユーザーID とパスワードを入力します。半角英数字で 31 文字以内です。32 文字目以降は無視されます。OK を押します。



【1-6-4】

「192.168.0.86 に接続しました。」というメッセージが出て、ロジックアナライザ回路のダウンロードが始まります。「ハードウェアは正常です。」というメッセージが出て、ポケットロジアナが使用可能になります。USB 接続のときと同じように使用することができます。



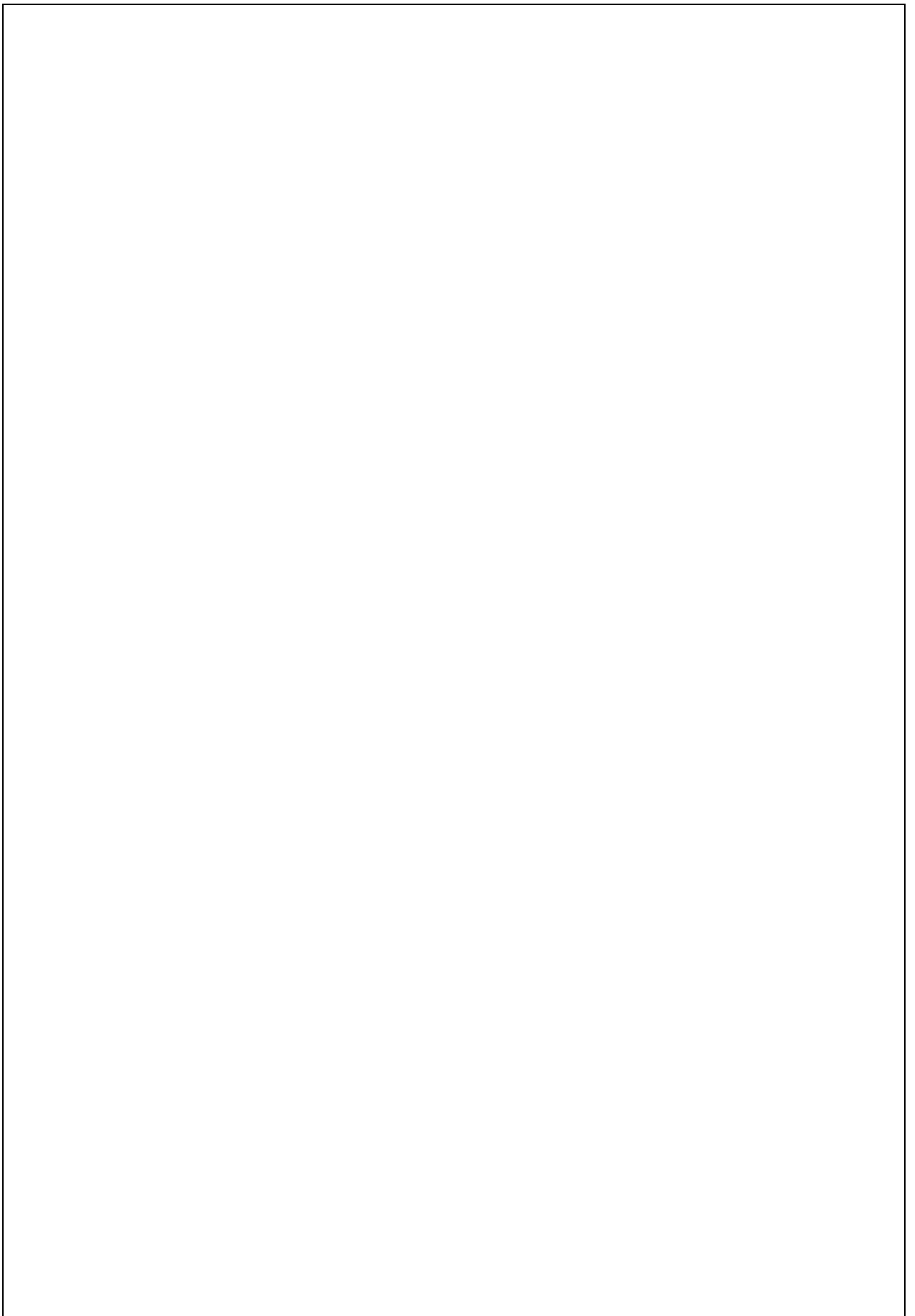
【1-6-5】

これで LAN 経由での動作確認は終了です。インターネット経由での測定は、「応用編」をご覧ください。

— 第 2 章 —

応用編

応用編 1. はじめに	9
応用編 2. ADSL 経由でインターネットに接続する	10
2.1 システム構成	10
2.2 各種設定	10
2.3 ブロードバンドルーターの設定.....	11
2.4 サーバー側の操作.....	14
2.5 リモート側の操作.....	14
応用編 3. ドメイン名で接続する	16
3.1 ドメイン名の取得.....	16
3.2 IP アドレスアップデータの導入	17
3.3 サーバー側の操作.....	17
3.4 リモート側の操作.....	18



応用編 1. はじめに

応用編では、インターネット経由のリモートコントロール方法を解説します。ポケットロジアナサーバーを ADSL 経由でインターネットに接続する方法です。弊社では、NTT 西日本の ADSL 1.5M を利用しています。この場合、上り方向の回線スピードは、最大 500Kbps です。

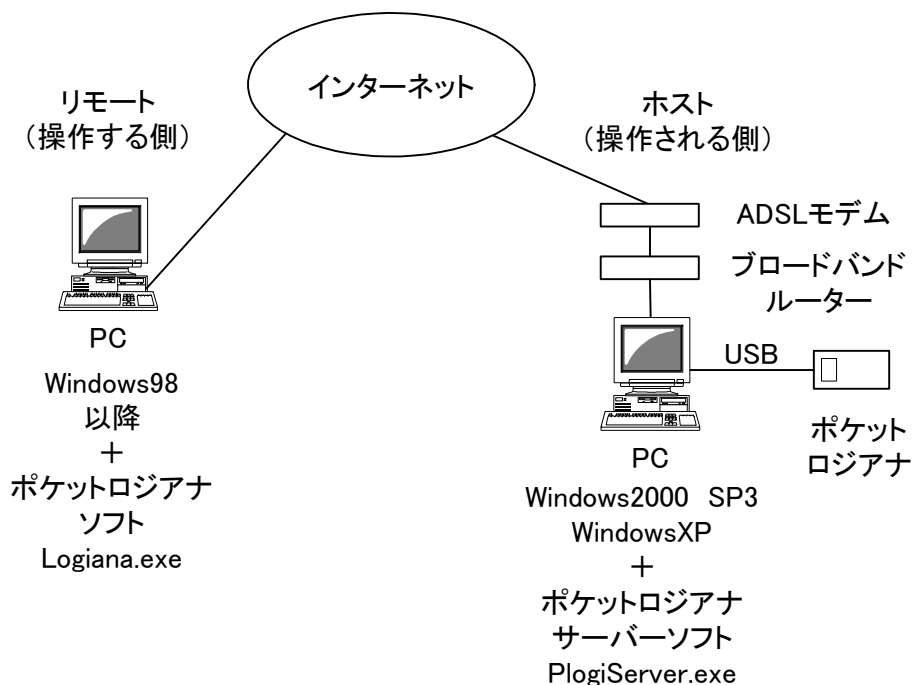
リモート側はインターネットに接続できるパソコンであれば、方法は問いません。ただし、回線スピードがあまり遅いと、反応が遅くなりますので、128Kbps 以上をお勧めします。

2.1 システム構成

下図のように、サーバー側を ADSL 経由でインターネットに接続します。ポケットロジアナを接続したパソコンがサーバーで、操作される側です。リモート側には、ポケットロジアナを接続しません。

セキュリティの面を考慮して、ADSL モデムの下にブロードバンドルーターを置き、ブロードバンドルーターにパソコンを接続してください。パソコンを ADSL モデムに直結することは避けてください。

サーバー側の OS は、セキュリティの面を考慮して、Windows2000 SP3 や WindowsXP をお勧めします。WindowsUpdate をかけて、最新の状態にしておくとい良いでしょう。サーバー側、リモート側ともに、セキュリティソフト(ウィルスバスター2003 など)をインストールして、パーソナルファイアウォールを有効にすることをお勧めします。



【2-1-1】

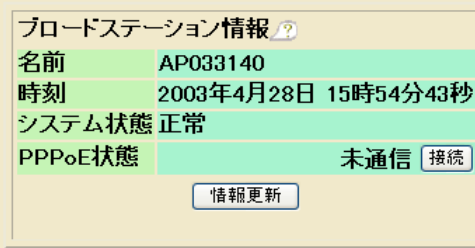
2.2 各種設定

導入編 3 「ソフトウェアのインストール」、導入編 4 「サーバー側のネットワークの設定」、導入編 5 「サーバー側のファイアウォールの設定」を行います。

2.3 ブロードバンドルーターの設定

弊社で使用しているメルコのBLR2-TX4の場合を説明します。メーカーによって設定方法が異なります。各メーカーのマニュアルを参考にしてください。

ブラウザのアドレス欄に `http://192.168.0.1/` と入力し、下図の設定初期画面を出します。詳細設定ボタンを押し、ユーザー名に `root` と入力し OK ボタンを押します。



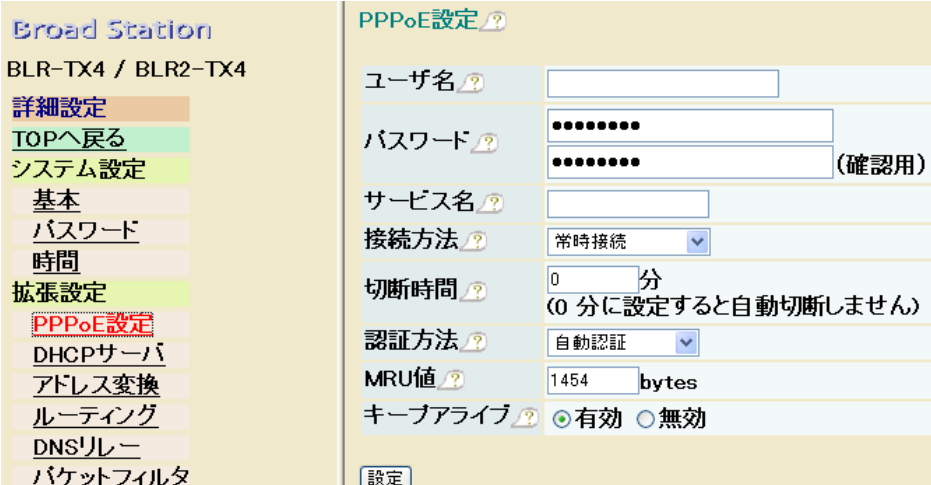
ブロードステーション情報 ?

名前	AP033140
時刻	2003年4月28日 15時54分43秒
システム状態	正常
PPPoE状態	未通信 <input type="button" value="接続"/>

最小限の入力で設定を行います。
 項目別に設定を行います。
 本製品の調査を行います。

【2-3-1】

PPPoE 設定で、接続方法を常時接続にします。下図では、ユーザー名とサービス名は消してあります。



Broad Station
BLR-TX4 / BLR2-TX4

詳細設定
TOPへ戻る
システム設定
基本
パスワード
時間
拡張設定
PPPoE設定
DHCPサーバ
アドレス変換
ルーティング
DNSリレー
パケットフィルタ

PPPoE設定 ?

ユーザ名 ?	<input type="text"/>
パスワード ?	<input type="password"/> <input type="password"/> (確認用)
サービス名 ?	<input type="text"/>
接続方法 ?	常時接続
切断時間 ?	0 分 (0 分に設定すると自動切断しません)
認証方法 ?	自動認証
MRU値 ?	1454 bytes
キープアライブ ?	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効

【2-3-2】

アドレス変換設定で、アドレス変換を使用するにチェックします。

The screenshot shows the configuration interface for a Broad Station. On the left is a navigation menu with options like '詳細設定', 'TOPへ戻る', 'システム設定', '基本', 'パスワード', '時間', '拡張設定', 'PPPoE設定', 'DHCPサーバ', 'アドレス変換', 'ルーティング', 'DNSリレー', and 'パケットフィルタ'. The 'アドレス変換' option is highlighted in red. The main content area is titled 'アドレス変換設定' and contains the following settings:

- 'アドレス変換' is set to '使用する' (checked).
- 'アドレス変換の設定' section includes:
 - 'DMZのアドレス' with an empty input field.
 - 'IPマスカレードテーブル保持時間' set to '5' minutes.
 - 'ログ出力' is checked, with '破棄パケット' selected.
- 'アドレス変換テーブルの追加' button is visible at the bottom.

【2-3-3】

アドレス変換設定で、プロトコルの「全て」にチェックし、LAN 側 IP アドレスの手動設定に 192.168.0.86 と入れ、「アドレス変換テーブルに追加」ボタンを押します。

The screenshot shows the 'アドレス変換テーブルの追加' dialog box. It contains the following fields and options:

- 'WAN側IPアドレス': A dropdown menu set to 'ブロードステーションのWAN側IPアドレス' and a '手動設定' input field.
- 'プロトコル': Radio buttons for '全て' (selected), 'ICMP', '任意', and 'TCP/UDP'. A 'プロトコル番号' input field is next to '任意'.
- 'ポート': A dropdown menu set to '任意のTCPポート' and a '任意のポート' input field.
- 'LAN側IPアドレス': A dropdown menu set to '手動設定' and a '手動設定' input field containing '192.168.0.86'.
- 'アドレス変換テーブルに追加' button at the bottom.

【2-3-4】

「戻る」で設定画面に戻り、一番下に下図のアドレス変換テーブルが追加されていることを確認します。

削除	WAN側IPアドレス	プロトコル	LAN側IPアドレス
<input type="checkbox"/>	ブロードステーションのWAN側IPアドレス	全てのプロトコル	----> 192.168.0.86

【2-3-5】

上記のアドレス変換の設定は、「静的 IP マスカレード」や「DMZ 機能」と呼ばれることもあります。こういった方法で設定する場合の解説は、今後追加して行く予定です。

左側項目の「TOP へ戻る」で設定初期画面に戻り、接続ボタンを押します。「戻る」で設定初期画面に戻り、下図のように通信中になれば正常です。

ブロードステーション情報	
名前	AP033140
時刻	2003年4月28日 16時06分07秒
システム状態	正常
PPPoe状態	通信中 <input type="button" value="切断"/>
<input type="button" value="情報更新"/>	

最小限の入力で設定を行います。
 項目別に設定を行います。
 本製品の調査を行います。

【2-3-6】

「簡易設定」ボタンを押します。WAN 側 IP アドレスを手元の紙にメモします。下図では 219.98.186.50 です。WAN 側 IP アドレスが 127.1.1.1 や 0.0.0.0 の場合は、うまく接続できていませんので、パソコンを再起動し、通信中でなければ、接続ボタンを押します。

IPアドレスの設定	
WAN(インターネット)側IPアドレス	<input type="radio"/> DHCPサーバからIPアドレスを自動取得 <input checked="" type="radio"/> 手動設定 IPアドレス: <input type="text" value="219.98.186.50"/> ネットマスク: <input type="text" value="255.255.255.252"/>
LAN側IPアドレス	IPアドレス: <input type="text" value="192.168.0.1"/> ネットマスク: <input type="text" value="255.255.255.0"/>
デフォルトゲートウェイアドレス	<input type="text"/>
DNSアドレス	<input type="text" value="202.238.95.24"/>

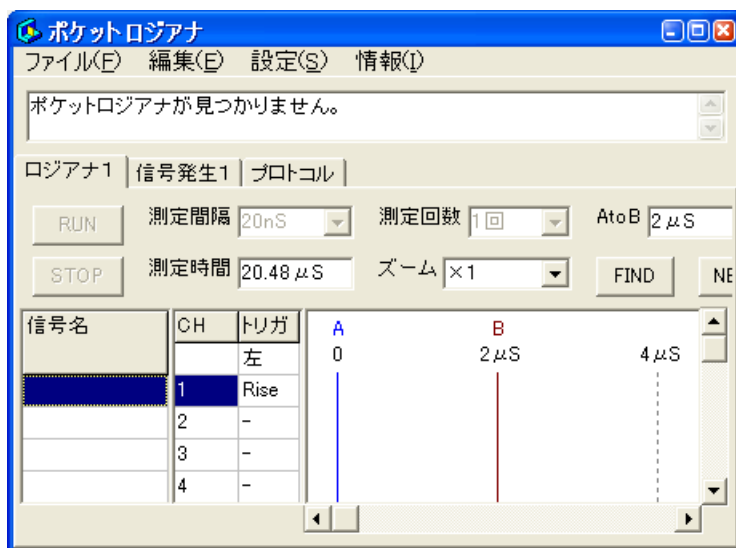
【2-3-7】

2.4 サーバー側の操作

導入編 6.1 「ポケットロジアナサーバーの起動」を行います。

2.5 リモート側の操作

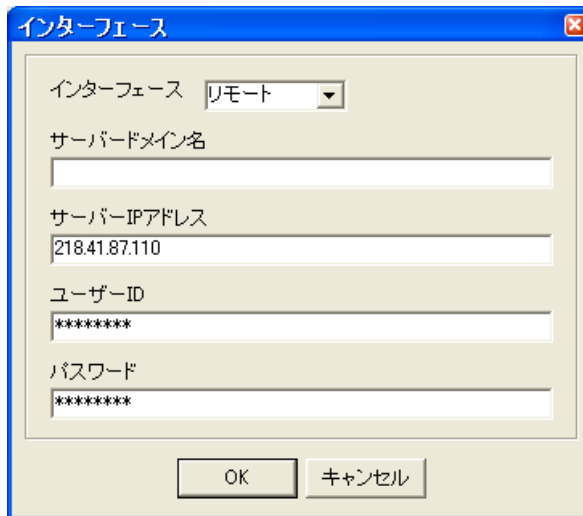
USB 接続のときと同じように、スタートメニューからポケットロジアナを選び、ソフトを立ち上げます。リモート側のパソコンには、ポケットロジアナを接続していませんから、下図のメッセージがでます。



【2-5-1】

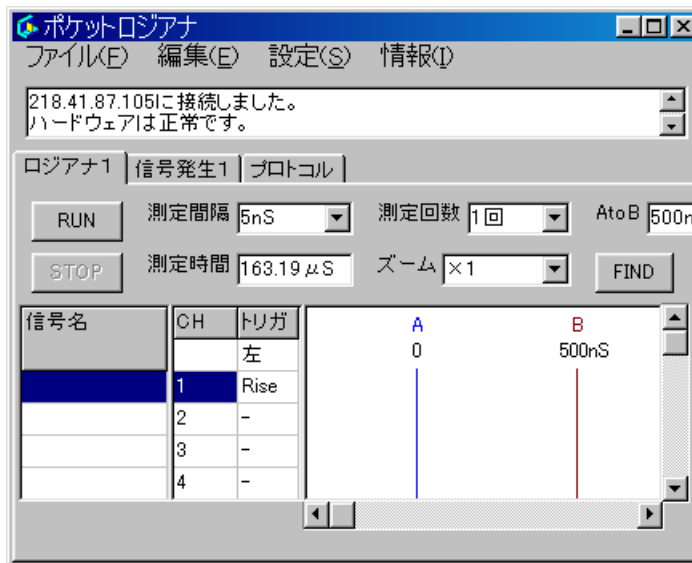
メニューの[設定 | インターフェース]を選択し、インターフェースをリモートに切り替え、先ほどメモした WAN 側 IP アドレスをサーバー IP アドレス欄に記入します。ユーザー ID とパスワードを入力します。半角英数字で 31 文字以内です。32 文字目以降は無視されません。OK を押します。

LAN 経由での接続の場合は、プライベートアドレス(192.168.0.86)をサーバーアドレス欄に記入しますが、インターネット経由での接続では、グローバル IP アドレスを入力します。



【2-5-2】

「*.*.*.* に接続しました。」というメッセージが出て、ロジックアナライザ回路のダウンロードが始まります。「ハードウェアは正常です。」と言うメッセージが出て、ポケットロジアナが使用可能になります。USB 接続のときと同じように利用することができます。



【2-5-3】

インターネット経由での接続では、各種操作をしたときの反応にタイムラグがあります。ブラウザでホームページにアクセスし、操作した時のイメージです。USB 経由で操作しているときの感覚で、ボタンを次から次へと押すと、動作がおかしくなります。動作終了を待って、次の操作を行いましょ。

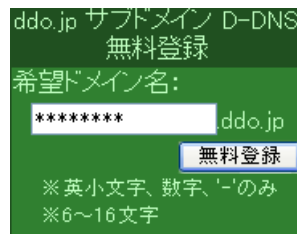
応用編 3. ドメイン名で接続する

ADSL では、モデム電源の再投入のたびに WAN 側 IP アドレスが変わります。また、エラーなどで接続が切れて、自動的に再接続した場合も WAN 側 IP アドレスが変化します。このような場合に対処できるように、ドメイン名で接続できるようにします。

3.1 ドメイン名の取得

下記ホームページで無料登録の希望ドメイン名を入力し、無料登録ボタンを押します。

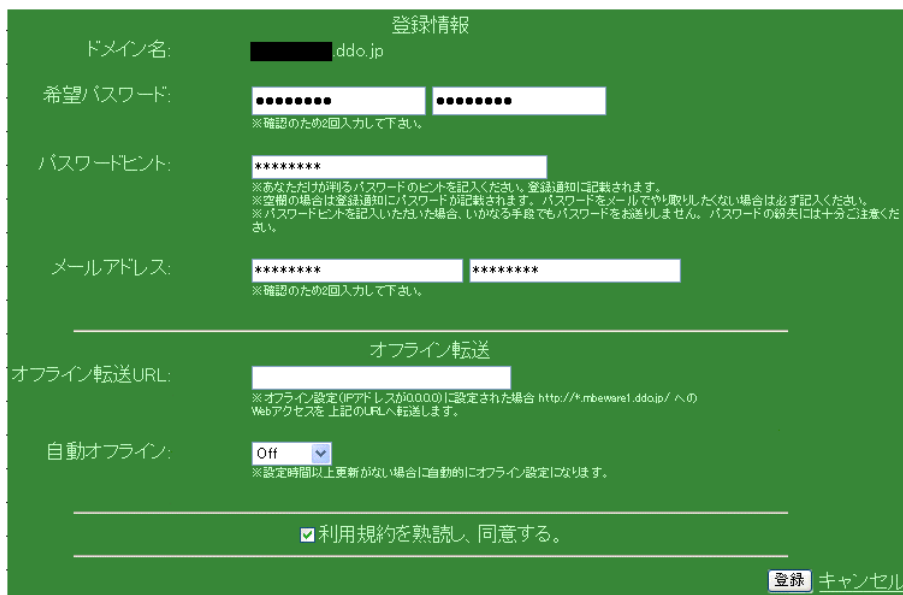
<http://ddo.jp/>



The screenshot shows a green registration form titled "ddo.jp サブドメイン D-DNS 無料登録". It has a field for "希望ドメイン名:" (Desired domain name) with "***** ddo.jp" entered. Below the field is a blue button labeled "無料登録". Underneath the button, there are two lines of instructions: "※ 英小文字、数字、'-'のみ" and "※ 6~16文字".

【3-1-1】

下記の***の部分を入力し、登録ボタンを押します。



The screenshot shows a registration form titled "登録情報" (Registration Information) on a green background. It contains several fields: "ドメイン名:" (Domain name) with "ddo.jp" entered; "希望パスワード:" (Desired password) with two masked fields and a note "※確認のため2回入力して下さい。"; "パスワードヒント:" (Password hint) with a masked field and a note "※あなただけがわかるパスワードのヒントを記入ください。登録通知に記載されます。 ※空欄の場合は登録時にパスワードが記載されます。パスワードをメールで取りたい場合は必ず記入ください。 ※パスワードヒントを記入した場合、しかる手段でもパスワードをお送りしません。パスワードの紛失には十分ご注意ください。"; "メールアドレス:" (Email address) with two masked fields and a note "※確認のため2回入力して下さい。"; "オフライン転送URL:" (Offline transfer URL) with a masked field and a note "※オフライン設定(IPアドレスが0.0.0.0)に設定された場合 http://*.mbeaware1.ddoip/ へのWebアクセスを上記のURLへ転送します。"; "自動オフライン:" (Automatic offline) with a dropdown menu set to "Off" and a note "※設定時間以上更新がない場合に自動的にオフライン設定になります。"; and a checkbox "☑ 利用規約を熟読し、同意する。". At the bottom right, there are two buttons: "登録" (Register) and "キャンセル" (Cancel).

【3-1-2】

3.2 IP アドレスアップデータの導入

下記ホームページから DiCE for Windows をダウンロードして、インストールします。

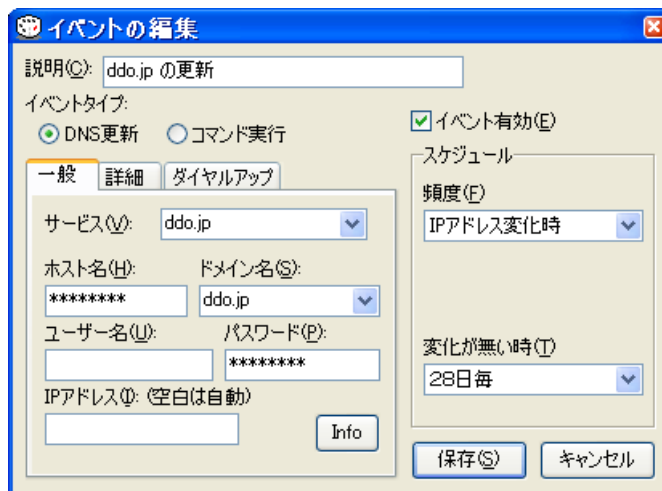
http://www.hi-ho.ne.jp/yoshihiro_e/dice/

DiCE for Windows を起動します。



【3-2-1】

メニューの[イベント | 追加]を選択し、下記のように入力します。ホスト名とパスワードは、Dynamic DO!.jp で登録した値を入力します。保存ボタンを押します。これで IP アドレスを自動的に更新します。



【3-2-2】

3.3 サーバー側の操作

導入編 6.1 「ポケットロジアナサーバーの起動」を行います。

3.4 リモート側の操作

応用編 3.1 「リモート側の操作」と同じように接続しますが、下記ダイアログではサーバドメイン名の欄に Dynamic DO!.jp で登録した名前を入力します。ドメイン名とIPアドレスの両方を入力した場合、ドメイン名を優先します。

インターフェース

インターフェース リモート

サーバドメイン名
*****.ddo.jp

サーバIPアドレス

ユーザーID

パスワード

OK キャンセル

【3-4-1】

Pocket Logiana

有限会社 エムビーウェア

〒862-0954 熊本市神水 1-21-8-409

TEL/FAX:096-385-6312

E-mail: support@mbeware.com

<http://www.mbeware.com>